

大口よしのり通信

大口よしのりホームページhttp://www.oguchi.gr.jp/

介護問題総点検運動スタート

実施期間 11月～12月初旬



特別養護老人ホームの入所者に和やかに語りかける山口代表(中央)、大口議員(左隣)ら=10月13日 富士市



介護福祉施設の関係者と意見交換する山口代表、大口議員ら=10月13日 富士市

介護現場の声聞く

特養、療養病床など視察
施設関係者と意見交換

大口善徳議員は、公明党の山口代表とともに10月13日、富士市を訪れ、特別養護老人ホームや療養病床など介護現場を視察するとともに、介護職員らと懇談し要望を聞きました。また、夜には同市内で静岡県老人福祉施設協議会の石川三義会長など介護施設関係者ら17人との意見交換会に出席し、介護保険制度の運用や介護人材の確保、待遇改善などで要望を受けました。

これには公明党から渡辺孝男厚生労働部会長(参院議員)、党静岡県本部の蓮池幹事長、早川女性局長(ともに県議)、富士総支部の議員らが同行しました。

山口代表は、「公明党は3000人を超える議員のネットワークを生かし総点検運動を展開する。その第1弾の“介護”は国民の誰もが直面する課題。自らの五感で現場の思いを受け止め、政策に反映していきたい」と挨拶しました。

【現役職】《衆議院》法務委員会理事、予算委員 《党内役職》中央幹事、総合企画室長、国会対策副委員長、静岡県本部代表、東海道方面協議会議長、東海方面副議長、マンション問題議員懇話会幹事長、政調法務部会長、農林水産副部会長、内閣副部会長、外交・安全保障副部会長、農林漁業活性化推進本部事務局長、憲法調査会事務局長、政治改革本部副本部長、行政改革推進本部事務局長、貧困と格差問題に関するプロジェクトチーム座長 《議員連盟》中部日本横断自動車道推進議員連盟・副

『出前政調』本格スタート

地域の声を政策に反映
幼保一元化の現場も視察



中原保育園で園児の様子を視察する齊藤政調会長(右端)、大口議員(中央奥)ら
=10月5日 静岡市

大口善徳議員は、公明党の齊藤鉄夫政務調査会長とともに10月5日、静岡市内で開催された「出前政調」(地域政策懇談会)に出席し、党静岡県本部の議員と活発な意見交換を行いました。出前政調は地方からの政策提言を党の政策に反映させるために政調の幹部が全都道府県に出向いて開催するものです。

本格的スタートとなる、この日の出前政調では、出席議員から医師不足の解消、乳幼児医療費の格差解消(全国一律化)、若者の定住化対策など地方が抱えるさまざまな問題について質問や国政への要望が出ました。



齊藤政調会長が出席して活発な意見交換会
が行われた出前政調=10月5日 静岡市

現場の声を国政へ

公明党静岡県本部(大口善徳代表=衆院議員)は11月14日、静岡市内の呉服町商店街で介護総点検の街頭アンケートを実施しました。これには、谷、蓮池、前林、高田の各県議と静岡市議団らが参加しました。

大口県代表は、介護現場の深刻な実態を総点検する運動を全国でスタートさせたことを紹介。「アンケートを通して多くの生の声をお聞きし、調査結果は国会や地方議会での論戦に生かし、新たな介護サービスの充実や制度改革へつなげていきたい」と訴えました。

=呉服町商店街でアンケート=



アンケートへの協力を呼び掛ける大口議員ら=11月14日 静岡市

現場へ！ 動き語る大口議員

ハッ場ダム



大口善徳議員は、公明党の山口代表らとともに9月22日、群馬県長野原町を訪れ、ハッ場(やんば)ダムの地元住民らと意見交換しました。

視察後、山口代表は記者団の質問に答え、「住民は生活再建とダムの完成を期待していると感じた」と指摘。前原国交相に対しては「結論ありきではなくて、白紙の状態で、住民の意見を聞いていただきたい」と述べ、住民の声に誠実に耳を傾けるべきだと訴えました。

東名 牧之原



大口善徳議員は、駿河湾地震から1ヶ月を経た9月11日、島田市議会の富澤議長(公明党)とともに崩落箇所を訪れ、中日本高速道路(株)の吉川取締役らと意見交換しました。

大口議員は、これまで明確な耐震基準がなかった盛り土などの土構造物について「全国の高速道路や新幹線などの安全確保へ、適切な基準作りが必要」とし、「本物の東海地震に備え、地形や地質、地下水脈などで今回の崩落現場と類似する個所を列挙し総点検すべきだ」と指摘しました。

静岡県立こども病院



大口善徳議員は、浜四津代表代行、坂口副代表、静岡市議団らとともに9月24日、静岡市葵区の静岡県立こども病院を訪ね、小児集中治療(PICU)センターの運用状況などを視察し意見交換しました。

坂口副代表は、日本の1歳から4歳児の死亡率が先進国中ワースト2位という実態を踏まえ、「幼い命を守るためにも、専門家をもっと育成し、少しでも多くの地域にPICUを増やしていきたい」と述べました。

国際医療福祉大学熱海病院



公明党脳脊髄液減少症対策ワーキングチームの渡辺孝男座長(参院議員)と大口善徳衆院議員は11月7日、静岡県熱海市の国際医療福祉大学熱海病院を訪れ、同院の篠永正道教授と意見交換しました。

同疾患は、頭部を強打したことが原因で脳脊髄液が漏れ、激しい頭痛などを起こします。渡辺座長は「患者本位で支援の道が開けるよう頑張りたい」と述べました。

不正議員は政界退



衆議院に法案を提出する大口議員(右か)

公明党は11月11日、秘書など政治団体の会計責任者が政治資金収支報告書に虚偽記載などをした場合、国会議員の監督責任を問い合わせ、公民権を停止させる政治資金規正法及び政党助成法の改正案を衆議院に提出しました。

改正案では、政治家が罰金刑になると、公民権停止となり、国会議員の場合、失職することになります。

可視化の範囲確認



取り調べの可視化の範囲について質問する
大口議員=11月17日 衆議院法務委員会

大口議員は11月17日、取り調べの可視化の範囲について、政府の見解を確認しました。

大口議員は、千葉法相が「全過程の録音・録画が基本」と発言していることについて、例外があるのかただしました。千葉法相は「全過程での可視化だ」と明言するとともに、「例外というのも考えていない」と答えました。

また、女子差別撤廃条約などをはじめとする個人通報制度を定めた選択議定書の早期批准を求めるのに対し、千葉法相は「できるだけ早く批准できるよう努力する」と述べました。

肝炎基本法案を提出



B型肝炎対策で要請を受ける公明党肝炎対策
プロジェクトチーム=10月15日 衆第1議員会館

公明党の肝炎対策プロジェクトチーム(赤松正雄座長=衆院議員)は10月15日、全国B型肝炎訴訟原告団と同弁護団から、B型肝炎の全面解決を求める要請を受けました。

そして公明党は11月10日、すべての肝炎患者の救済をめざす肝炎対策基本法案を、自民党とともに衆議院に提出しました。同法案は民主党とも協議し、衆院厚生労働委員会の委員長提案として、今国会での成立をめざします。